『願い』一歩前へ

長浜市立西中学校　学校だより　第３号
令和５年５月２９日　　発行文責；小川淳三
生活スローガン「あすこそは」
あいさつ・スマイル・こしぼね・そうじ・はきもの

ソフトボール部 優勝おめでとう！

北村澪音さん（四種競技）第１位

５月１８日から開催された、春季総合体育大会や吹奏楽祭を今年も無事に終えることができました。
女子ソフトボール競技において本校と高月中学校の合同チームが見事に優勝の栄冠を勝ち得ました。また、北村澪音さんが共通男子四種競技において、全国大会標準記録（2500点）に迫る好記録で１位を獲得しました。それぞれのチーム・個人で今回の経験を夏に活かしてください。期待しています。

〇春季総合体育大会　５月１９日～２１日　　個人は入賞を基準に掲載　（敬称略）

◇ソフトボール　本校・高月１０－０新堂・栗東　準々決勝　１０－１仰木・幸福関西
準決勝　８－１守山南　決勝　６－５高穂　☆県１位

◇陸上　共通男子四種競技　北村澪音　２４７２点　☆県１位
（110mH15"56=783 点、砲丸投げ 11m95cm=603 点、走高跳 1m60cm=464 点、400m54"44=622 点）

◇男子卓球　２－３稲枝　３－０彦根　３－１長浜北　１－３伊吹山　３－２彦根東
０－３双葉　北部６位で２日目へ進出　　３－２打出　０－３栗東　予選リーグ敗退

◇女子卓球　１－３双葉　３－２河瀬　１－３彦根東　３－０大東
２－３柏原　北部６位で２日目へ進出　　３－０青山　０－３聖徳　予選リーグ敗退

◇男子ソフトテニス　団体　３－０木之本　１－２安曇川　２－１長浜北（３位）２日目へ
３－０仰木　２－０五個荘　１－２守山　※県ベスト８
個人　中川寿凱・大澤逸平ペア（１位）　上辻紘生・筒井海翔ペア（２位）２日目へ
中川・大澤ペア３回戦敗退　※県ベスト１６　上辻・筒井ペア　２回戦敗退

◇女子ソフトテニス　団体　１－２長浜東　　個人　麻生結衣・日高心温ペア（ベスト８）

◇女子バスケ　４４－２１彦根東　３３－６１稲枝

◇男子バスケ　６５－２４彦根中央　５７－３８秦荘　４１－６２老上　※県ベスト１６

◇女子バレー　０－２朝桜

◇男子バレー　０－２唐崎

◇野球　４－５今津

◇アメリカンフットボール　０－２２立命館守山　０－０長浜南　※同率２位

◇水泳　上屋圭祐　男子２００ｍ自由形　　２’０９”０７　※県３位
男子４００ｍ自由形　　４’４０”３８　※県３位
古池陽太　男子２００ｍ自由形　　２’１５”４２　※県５位
男子１００ｍバタフライ　１’０９”２０　※県６位

◇柔道　梅本理央奈　女子４４kg級　※県３位

にしタンも応援しています

〇県吹奏楽祭　５月１９日「ﾎﾟﾛﾈｰｽﾞとｱﾘｱ ～吹奏楽のために～」「お前を離さない」演奏　ひこね市文化ﾌﾟﾗｻﾞにて

長浜西主将の吉田星渚（せな）選手（３年）は「我慢が続く試合展開だったが、９回表でみんなのエンジンがかかった。記憶に残るゲームで、このチームで勝利できて良かった。」と話していた。
（『滋賀夕刊』５月２２日記事より一部抜粋）

記事にあるように、８回まで互いに得点を許さない緊迫した投手戦となりました。タイブレークルールでノーアウト２塁からの攻撃も８回は０点。９回表に吉田さんがタイムリーヒットを放ち、初めて２点が入りました。その後にチャンスが広がった満塁の場面で、１年生の小谷美珠稀さんが

ホームランを打って計６点。楽勝と思われた９回裏。勝ちを意識しすぎたのかエラーが出て１点差まで迫られましたが６－５で勝ちきりました。決勝までの全４試合を一人で投げ抜いた近藤絆さんを中心とした守備力が群を抜いていました。私は歓喜の瞬間に立ち会うことができ、幸せでした。

ハチドリのひとしずく

皆さんはハチドリを知っていますか。
中南米に住んでいる鳥で、世界で一番小さな鳥。体長１０センチ程の本当に小さい鳥です。そんな小さな小さな鳥の話、南米アンデスの先住民に伝わる話を紹介します。たったの５ページしかない短い話です。

森が燃えていました	The forest was on fire.
森の生きものたちは われ先にと逃げていきました	All of the animals, insects and birds in the forest rushed to escape.
でもクリキンディという名の ハチドリだけは	But there was one little hummingbird named Kurikindi, or Golden Bird,who stayed behind.
いったりきたり	This little bird went back and forth
くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは	between water and fire,
火の上に落としていきます	dropping a single drop of water from its beak onto the fire below.
動物たちがそれを見て 「そんなことをして いったい何になるんだ」 といって笑います	When the animals saw this, they began to laugh at Kurikindi. "Why are you doing that?" they asked.
クリキンディは こう答えました	And Kurikindi replied,

「私は、私にできることをしているだけ」 "I am only doing what I can do."

出典「ハチドリのひとしずく　いま、私にできること」光文社刊

これで話はおしまいです。皆さんは、何を感じたでしょうか。
この話を翻訳(ほんやく)・編集した辻真一さんは「地球温暖化、戦争、飢餓(きが)、貧困…。ぼくたちの生きている世界は深刻な問題でいっぱいです。しかしぼくは、それらの重大な問題よりさらに大きな問題があるという気がします。それは、これらの問題に対して『自分にできることなんか何もない』とぼくたちがあきらめを感じてしまっていること。もしもこの無力感を吹き払うことができたら、つまり、『私にもできることがある』と思えたら、その瞬間、ぼくたちの問題の半分はすでに解決しているのではないでしょうか。(同著 P22)」と述べておられます。
環境ジャーナリストの枝廣(えだひろ)淳子さんは、この物語の続きを次のように創作しています。

森が燃えているのを見たハチドリは仲間を増やそうと思いました。
「それぞれが１羽ずつ仲間を増やすように伝えて！」
２回伝わると４羽が、３回伝わると８羽が、１０回伝わると１０２４羽が、２０回伝わると１００万羽以上が、そして４０回伝わると１兆羽以上のハチドリがやってきて、あっという間に火事を消してしまいましたとさ。

一人ひとりにできることは、ハチドリのひとしずくのように小さいかもしれないけれど、ひとしずくが集まることで水たまりになり、やがて川になります。ついには大きな海になります。一人ひとりの小さな力でも、集まれば、やがて大きな力になりチームや学年、学校をも変えることができます。　「今、私にできること」・・・・・よく考えて行動しましょう。